



第61回カンヌ国際映画祭
正式出品作品

寒くても、
お腹がへっても、
手を握っていてくれたら
ぼくは泣かない。

ベルサイユの子

Versailles
Guillaume Depardieu un film de Pierre Schoeller

ベルサイユ宮殿の森で、
社会からはみ出て独り暮らす男が、
母親に置き去りにされた
見ず知らずの子供と出会った
これは、強くて美しい絆の物語…

Max Baisette de Malglaive Judith Chemla Auro Atika Patrick Descamps et avec Brigitte Sr Matteo Giovannetti Franc Bruneau Philippe Duangne scénario : Pierre Schoeller - image : Julien Hirsch - montage : Mathilde Mjayard
son : Yves-Marie Omnes François Mereu Stéphane Thibaut - musique : Philippe Schoeller - casting : Aurélie Guichard Marion Toutout - assistant réalisateur : Frédéric Goupil - décors : Brigitte Brassat - maquillage coiffure : Michel Yautier
costumes : Marie Cesari - direction de production : Olivier Guerbois - production : Géraldine Michelot - producteurs délégués : Philippe Marjot et Géraldine Michelot - une production : Les Films Pelléas - avec la participation du Centre National de la Cinématographie
avec le soutien de la Région Ile-de-France et de Centre Images - Région Centre en partenariat avec le CNC - avec la participation de Canal + et de Cinéma - en association avec les Sofica La Banque Postale Image et Cinéma 2
avec le soutien de la Proctirep, de l'Angoia Agicoa, et du Programme Media de l'Union Européenne - Distribution France et Ventes à l'Étranger : Les Films du Losange - Pierre Schoeller a été Lauréat d'Émergence 2007

監督・脚本：ピエール・ショレル 出演：ギョーム・ドバルデュー/マックス・バセット・ド・マルグレーツ/オーレ・アッティカ/パトリック・デカン
フランス/2008年/113分/ビスタ/ドルビー-SRD/字幕：松岡葉子 原題：Versailles 特別協力：アニエスバー agnès b. 配給：ザジフィルムズ

www.zaziefilms.com/versailles

愛する誰かのために…、幸せになるために…、 人はいまを生きている

観光客で賑わうパリ郊外の世界遺産、ベルサイユ宮殿。17世紀フランスの繁栄の証であるその宮殿のはずれに、現在多くのホームレスが棲んでいるのを、あなたは知っていますか？

物語は、社会からドロップアウトしてベルサイユの森のはずれで、ひっそり生きてきた男が、若い母親に置き去りにされた、見知らぬ5歳の子供の世話をする羽目になるところから始まります。すべてを諦めたかのような男・ダミアンと、幼な過ぎてまだ何も分からない子供・エンゾ。寒さと飢えをしのぎながら生活を共にするうち、ふたりの間にはいつしか本当の親子以上の情愛が生まれるのですが…。

世界規模の不況に見まわられている現代社会。ふたりの物語は絵空事ではなく、あなたの隣りで起こっている出来事。本作は、今本当に必要なものは何かを思い出させてくれるでしょう。



カンヌを温かい涙で包み込んだマックス少年の名演技!

第61回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門に出品され、静かな感動の渦で上映会場を包み込んだ本作。誰もが驚嘆したのがエンゾに扮する、これが映画デビューのマックス・ベセット・ド・マルグレーヴの、天使が舞い降りたかのような、愛らしさでした。

母親と共に路上生活を強いられ、冬の夜のパリの街をさまようオープニングから、観る者の心を驚掴みにし、ダミアンと出会い、心を通わせていく中盤では、心情の変化を見事に演じ切ります。病いに倒れたダミアンのために、ベルサイユ宮殿に助けを呼びに行く健気さ、入院したダミアンの帰りをひたすら待つ切なさ、涙せずにはいられません。無垢な笑顔と、強い意志を感じさせる目の力、リアリティに満ちたその佇まい。恐るべき名子役の誕生です。



『ベルサイユの子』は、わたしたちに、わたしたちが見えない「今」をつきつける。わたしたちが見ようとしなかった「今」をつきつける。さあ考えろ。さあ答えを出せ。と迫るのではなく、これが我々の「今」なのですよと呟くのだ

あさの あつこ (作家)

スクリーンに投影された、その人生。 生き急いだ若き名優ギョームが遺した贈り物。



2008年10月、急性肺炎のために37歳の若さで惜しくもこの世を去ったギョーム・ドバルデュ。『ランジェ公爵夫人』の翳りある将軍役で再び脚光を浴び、精力的に活動を再開。本作の8月公開時、渾身の演技が絶賛された矢先の悲報に、フランスのみならず、世界中のファンが悲しみにくれました。

社会からはみ出して、自ら孤高の人生を選択したダミアン役は、その繊細さゆえに問題児扱いされてきたギョーム自身の波乱万丈の実生活そのもの。幼いエンゾを守るために、疎遠だった父を頼るくだりでは、国民的俳優である父ジェラルドとの確執と和解をも思い起こさせます。

守るべきものを得て、強くやさしく変わっていくさまをスクリーンに刻み込み、私たちの前から消えてしまったギョーム。本作は彼の代表作の一本として讃えられ、後世に語り継がれていくことになるでしょう。



第61回カンヌ国際映画祭
正式出品作品

本年度
フランス・セザール賞ノミネート!
新人作品賞/主演男優賞
(ギョーム・ドバルデュ)

ベルサイユの子
Versailles
www.zaziefilms.com/versailles

監督: 脚本: ビエール・ショレール 出演: ギョーム・ドバルデュ / マックス・ベセット・ド・マルグレーヴ / オーレリアン・ティカ / バトリック・デカン フランス / 2008年 / 113分 / ビスタ / ドルビー-SRD / 字幕: 松岡葉子 原題: Versailles
特別協力: アニエス・ペー・アグニエ 協力: ユニフランス東京、東京日仏学院 提供・配給: ザジフィルムズ © Les Films Pelléas 2008

5/2 (土)より、絆をむすぶロードショー

特別鑑賞券 ¥1500 (税込) / ペア券 ¥2800 (税込)

●劇場窓口、チケットぴあ、各種プレイガイドにて発売中 ●ペア券はシネスイッチ銀座のみ販売

劇場窓口でお買い求めの
お客様に限り、
先着で特製缶バッジ &
ポストカードをプレゼント!



銀座4丁目交差点 和光丸通り

シネスイッチ銀座

03-3561-0707 www.cineswitch.com

連日 | 11:20 | 1:50 | 4:20 | 6:50